

憲法しんぶん速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

第190号

2008年3月25日

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
HPサイト <http://www.kenpoukaigi.gr.jp/>

Tel 03-3261-9007
Fax 03-3261-5453

半数越える「改憲反対」の声と結びつく運動と組織を！
派兵武力行使恒久法阻止の取り組み強化を！

一憲法会議が第43回総会一

憲法会議第43回総会が3月22日、農協会館で開催され、18都府県、20団体、個人合わせて57人が参加しました。「許すな！憲法改悪・市民連絡会」の高田健さんの連帯のあいさつをうけ、高田公子新婦人会長、浜林正夫一橋大名誉教授、隅野隆徳専修大名誉教授、松井繁明自由法曹団団長の各代表委員が登壇。25人が討論に立ち、職場・地域での憲法運動の拡大の状況や、専門的立場からの支配層の憲法改悪意図の解明、攻撃の立体的構造的な把握などが語られました。発言の一つ一つが、憲法運動のつくりだした宝であり、今後の運動の発展を促すものでした。総会は方針を採択、新役員を選出しました。

派兵武力行使恒久法で集中討論

総会で発言された中から3人の発言を紹介いたします。

●憲法会議代表幹事 川村俊夫さん

政府はこれまで「武力行使を伴わなければ海外派兵ではなく海外派遣だ」としてきたが、石破試案は、武器使用を「国際基準」にあわせようとしている。また、安全確保活動を自衛隊の任務とすることによって、米がイラクで行っている掃討作戦をも可能とするものだ。民主が派兵武力行使法の対案を出しているもとので、情勢は動き出したら早い。その前に急いで反対世論を高めよう。

●平和委員会代表理事 内藤功さん

派兵のねらいと切り口は3つだ。①日米同盟との関連②石破試案の評価③今後の政局との関係。日米同盟は05年2月のII+II合意、05・12、06・5、07・5の日米合意が節になっている。自衛隊と米軍を同じ家に入れ、同じ飯を食わせ一体化をめざしている。派兵武力行使恒久法は、陸・海・空が米軍と共に出かけることだ。自衛隊の不祥事続発は、米の自衛隊への要求がいかに過重かを示した。隊内ではうつ病等、精神疾患が増している。

●日本共産党国会事務局 白髭寿一さん

審査会設置など明文改憲の動きが強まっている。安倍タカ派改憲路線で自・民の改憲同盟は崩壊した。その後も新テロ特の衆議院再可決、ガソリン国会での自・民の「対立」関係が続いている。他方、せんたく議連など自・民の関係修復の動きも激しい。今年は米軍への思いやり協定開始30年、特別協定20年、なだしお事故20年だ。暫定税率問題の区切りがついた後の国会は予断が許せない。

派兵武力行使恒久法リーフ発売中！1部20円(割引あり) 注文は憲法会議へ